

2020年3月10日

各位

上場会社名 株式会社アマガサ
 (JASDAQ・コード3070)
 本社所在地 東京都台東区浅草六丁目36番2号
 代表者 代表取締役社長 永井英樹
 問合せ先 取締役経営企画担当 鈴木 親
 電話番号 (03) 3871-0111 (代表)
 (URL <http://www.amagasa-co.com/>)

前期実績値と当期実績値の差異及び特別損失の発生
 並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

2020年1月期（2019年2月1日～2020年1月31日）につきまして、前期実績値と当期実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は2020年3月10日開催の取締役会において特別損失を計上すること、2020年1月31日を基準日とする剰余金の配当を行わないことを決定いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 前期実績値（2018年2月1日～2019年1月31日）と当期実績値（2019年2月1日～2020年1月31日）の差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値（A）	5,281	△156	△173	△825	△442.93
当期実績値（B）	4,803	△266	△275	△254	△136.54
増減額（B－A）	△478	△110	△102	570	
増減率（％）	△9.1	－	－	－	

差異の理由

当期の連結業績につき、売上高におきましては、消費者の節約志向が引き続き強く、個人消費は伸び悩んでおり、依然として厳しい経営環境が続く中、卸事業においては香港向け海外販売が大きく減少し、EC事業においても上期は好調に推移しましたが下期に入り暖冬や増税の影響を受け販売が落ち込んだため前期実績値を下回りました。また、営業利益、経常利益におきましては、減価償却費や人件費の減少により改善はしたものの、減収の影響や物流のコストの増加により前期実績値を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記「2. 特別損失の計上について」に記載のとおり、48百万円の特別損失を計上いたしましたが、固定資産の売却等もあり前年実績値を上回りました。この結果、2020年1月期については、売上高は478百万円の減少、営業利益は110百万円の減少、経常利益は102百万円の減少、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては570百万円の増加となりました。

2. 特別損失の計上について

減損損失

当社は、全社の収益性が低下したことを受け、店舗及び共用資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、約48百万円を特別損失として第4四半期会計期間に計上いたしました。

3. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前年実績 (2019年1月期)
基準日	2020年1月31日	同左	2019年1月31日
1株当たり配当金	0円00銭	(未定)	0円00銭
配当の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

理由

当社は、内部留保の充実による財務体質の改善を勘案しつつ、安定配当の実施と配当水準の向上を図ることを基本方針としております。

2020年1月期の年間配当金につきましては、本日公表の「2020年1月期決算短信」のとおり、前年に引き続き連続で連結純損失を計上することから、誠に遺憾ながら無配とさせていただくこととなりました。

株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上